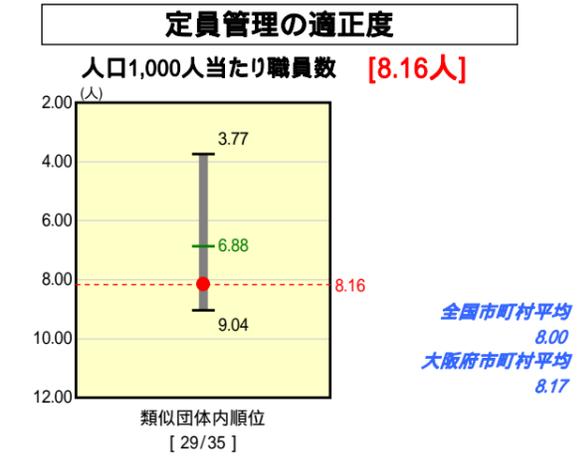
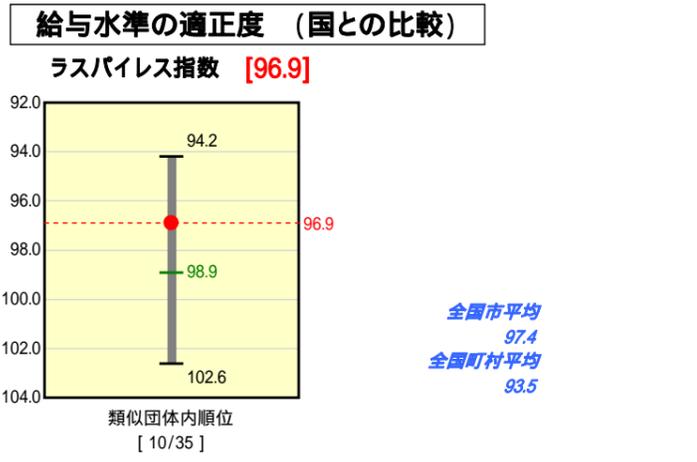
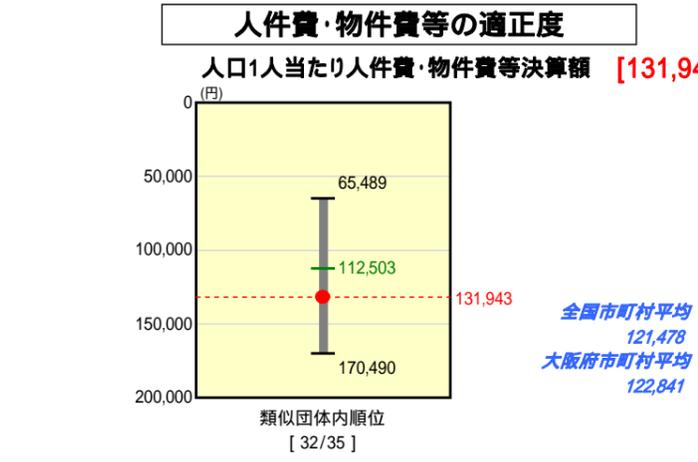
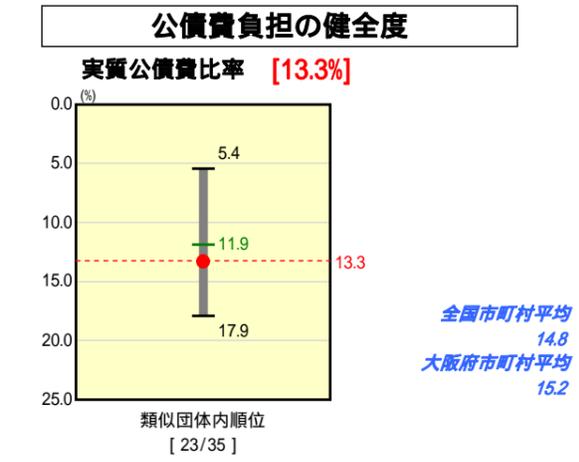
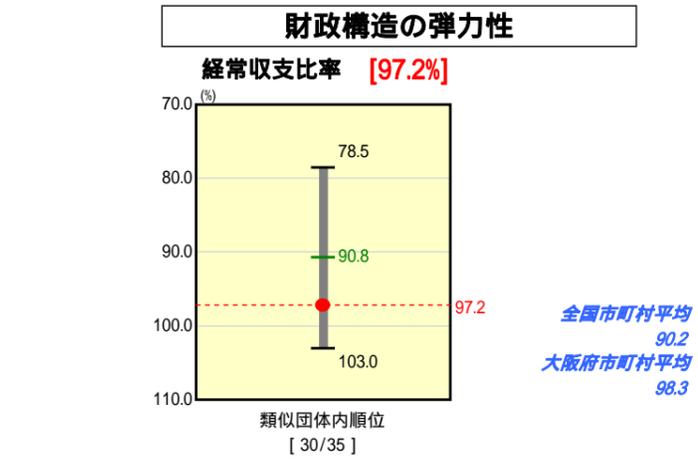
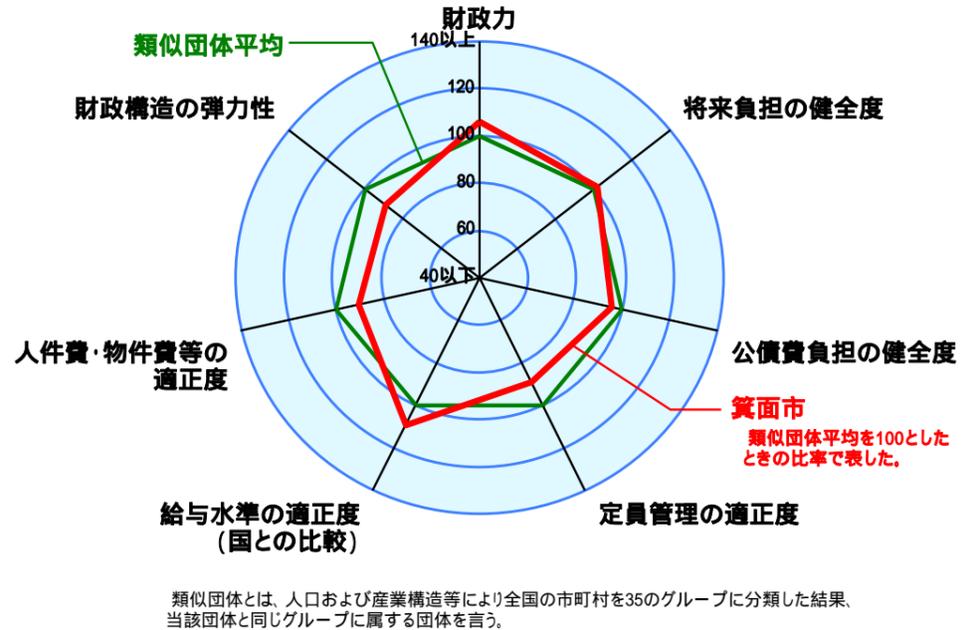
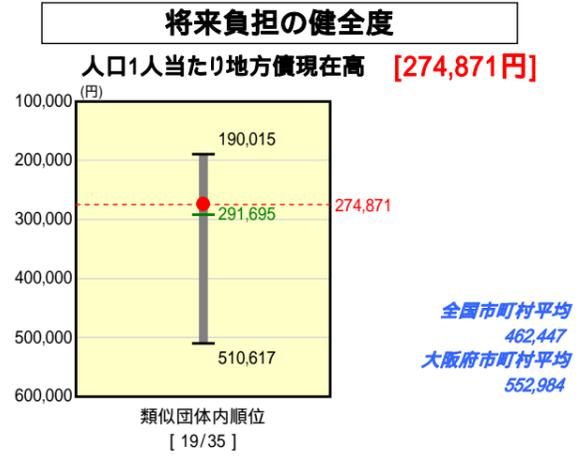
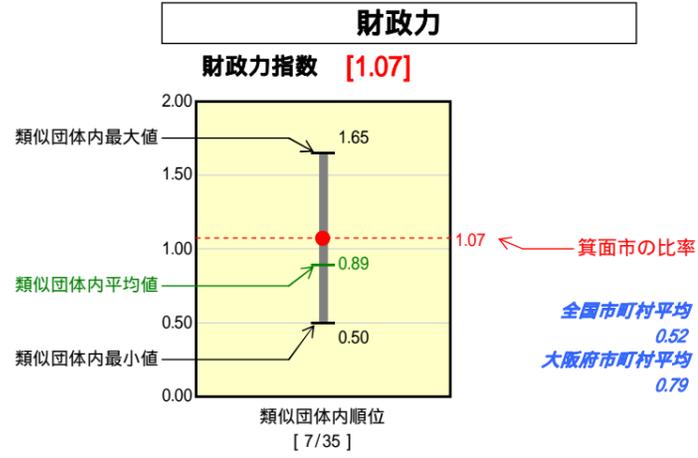


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 大阪府 箕面市

人口	125,161	人(H18.3.31現在)
面積	47.84	km <sup>2</sup>
歳入総額	42,221,259	千円
歳出総額	40,937,625	千円
実質収支	1,043,367	千円



### 分析欄

- 1. 財政力指数**  
市民税、固定資産税の担税力が強く類似団体平均を上回る税金があるため、1.07となっているが、今後は少子高齢化の進展などによる税金の減少や社会保障関連経費の増加が見込まれることから、引き続き歳入の確保と歳出の見直しによる財政基盤の強化に努める。
- 2. 経常収支比率**  
公債費、扶助費等が増加したものの、退職者数の減による退職手当の減少などにより97.2%となったが、類似団体平均を上回っていることから、集中改革プランに基づき経常経費の削減に努める。
- 3. 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
図書館等の公共施設を多く設置するなど充実した公共サービスを提供しているため、類似団体平均を上回っている。今後も民間委託を進めるなどして、サービスの質を維持しつつコストの削減に努める。
- 4. ラスパイレース指数**  
平成12年度から、給与カット、人動に基づくマイナス改定等による給与適正策を実施し、さらに平成18年度には全職員の給料月額を3%カットする等の施策により、類似団体平均及び国水準を下回った。引き続き、総人件費の抑制と併せて給与水準の適正化に努める。
- 5. 人口1人当たり地方債現在高**  
市債発行の抑制により、平成15年度をピークに市債現在高は減少しており、類似団体平均を下回っている。今後も大型投資事業を適切に取捨選択するなどして新規発行債を抑制し、財政の健全化を図る。
- 6. 実質公債費比率**  
近年の投資的事業に係る市債償還等に伴い上昇し、類似団体平均を上回っているが、償還額は平成17年度をピークに減少に転ずる見込みである。今後も緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に過度に依存しない財政運営に努める。
- 7. 人口1,000人当たり職員数**  
平成8年度以降、職員定員適正化計画に基づき、平成17年度まで職員数の削減(9年間で15.6%)に努めてきたが、新たに集中改革プランに基づき、平成17年度の職員数を基準に、平成22年度までに100名(6.6%)の削減に取り組む。